

『防長風土注進案』記載の虫類目録

松森 智彦*・中村 大**・五島 淑子

List of Insects and Small Animals in *Bōchō Fūdo Chūshin-an* in 19th Century Yamaguchi

MATSUMORI Tomohiko*, NAKAMURA Oki**, GOTO Yoshiko

(Received September 28, 2018)

1. はじめに

『防長風土注進案』とは、江戸後期に編纂が行われた長州藩の地誌である。我々はこの『防長風土注進案』（以下注進案と略す）の記載をもとに、食品、商品作物、手工業製品などを含む産物データベースを構築した。更にこれより、食品・手工業製品などを整理した産物・産業の目録を作成し、報告した¹。今年度は注進案の記載より、虫類に着目して目録として整理する²。なお本稿では、本草学での「人類・鳥獸類・魚介を除く小動物の総称」としての虫という呼称を用いる³。

2. 虫類の目録

表1に注進案に記載されている虫類の目録を示す。昆虫類が無翅類、旧翅類、多新翅類、準新翅類、完全変態類⁴に分かれ、合計は74項目である。昆虫以外の虫として代表的な、ムカデ、ヤスデ、ダンゴムシ、クモ、トビムシ、環形動物、有肺類が15項目、ほか両生類・爬虫類が14項目示されている。虫類の記載がある村落は、全体の41%にあたる133村である⁵。本稿で記載の割合を示す際は、この村数を分母とする。類ごとの項目の数は完全変態類が47項目（46%）と多数であり、次いで

多新翅類が13項目（13%）、準新翅類が11項目（11%）、爬虫類が9項目（9%）である。

虫類のうち、ヘビとトンボ、ハチは全体⁶のおよそ6割の村落に記載されている。次いでミミズ、ホタル、セミ、アリ、カエル、カマキリが5割、マムシ、ハエ、チョウ、クモ、カ、ムカデ、カタツムリが4割の村落に記載がある。ほか、アブ、キリギリス、マツムシ、トカゲ、ヒル、カメが3割、ケラ、ヒキガエル、スズムシ、ハンミョウ、イナゴ、ブユ、ミノムシが2割の村落に記載されている。上記の4割以上の村落にみられる虫類のうち、節足動物ではホタルを除き現在でもごく一般に見られるものである。3割以下の昆虫類ではアブを除き、目にする機会が少なくなったように思う。

目録の103項目のうち、村落全体の5割以上に記載のある虫類は9項目（9%）、4割以上に記載のある虫類は16項目（16%）、3割以上が22項目（21%）、2割以上が29項目（28%）である。

すなわち、2割未満に記載のある虫類は、全体の72%である。このように、記載頻度の高い虫類はごく一部に限られており、大部分の虫類は頻度の低いものである。

3. 宰判ごとの記載頻度

次に、これら虫類についてその記載頻度を宰判⁷ごとに集計し、比較を行う。その際項目名の表記ゆれを併合し、目録名ごとにまとめる。これを表2に示す。また宰判の区域については、図1に示す。紙幅の都合により全てを取り上げることはできないが、ここでは普遍的な虫類、記載の偏る虫類、宰判固有の虫類について説明する。なお、虫類の記載を確認できなかった奥山代・三田尻・吉田・美禰宰判は宰判数の母数から除外する。

6 この「全体」は、虫類の記載がある133村を指している。以降も同様である。

7 宰判とは「長州藩における郷村支配の中間組織として一代官の管轄する地域（二〇～三〇か村）」を指す。（『防長歴史用語辞典』（1986）p.165、宰判の項より）。

同志社大学 人文科学研究所 ** 立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構

1 松森ほか2014, 15, 16, 17。なお比較を容易にするために、本稿の構成は可能な限り前稿に合わせた。本文中に前稿と重複する記述があるが、本稿単体で読めるように重複記述の削除は行わなかった。

2 本稿の目録は筆者らが確認できたものに限られる。可能な限り記載を集めるように努めているが、注進案に記載されている虫類を完全に網羅したものではない。

3 昆虫類を含む広義の虫という用語を用いる。「むし【虫】①本草学で、人類・獸類・鳥類・魚介以外の小動物の総称。昆虫など。」（広辞苑 第7版（2018）p.2854）

4 無翅類：翅を持たない、旧翅類：翅を後方にねじって畳む事ができない、多新翅類：前翅より後ろ翅が発達する、準新翅類：尾毛が退化している、完全変態類：さなぎの時期がある（小学館2015より）。

5 本稿の目録に記載されている虫類の記載に限る。

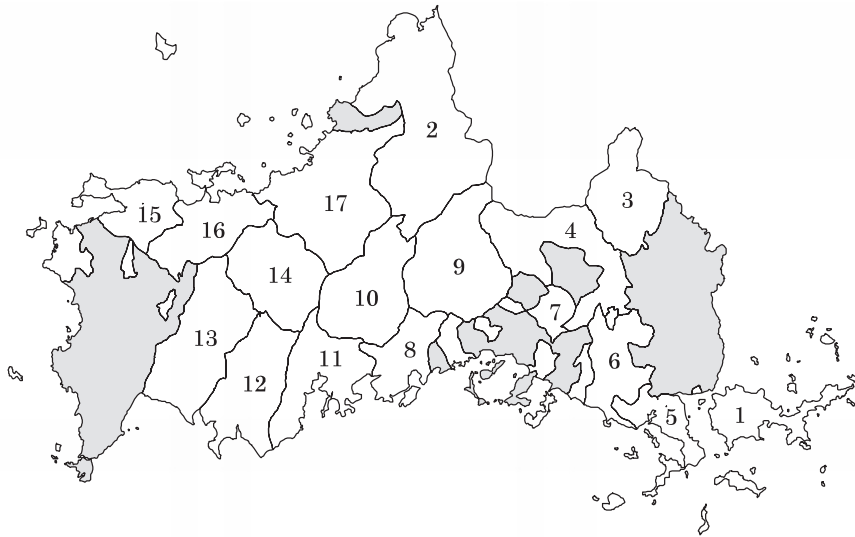
表1. 虫類の目録

分類	目	No.	目録名	記載名	記載名カナ	亜目	上科・科	備考	記載数		
無翅	シミ目	1	シミ	衣魚	シミ	シミ亜目	シミ科		17		
旧翅類	カゲロウ目	2	カゲロウ	蜻蛉 蜻 蜻蛉	カゲロウ カゲロウ	ヒラタカゲロウ亜目, マダラカゲロウ亜目	総称		5 1 3		
	トンボ目	3	トンボ	蜻蛉 蜻蛉 蜻蛉	トンボウ セイレイ	イトトンボ亜目, ムカシトンボ亜目, トンボ亜目	総称		57 20 1		
多新翅類	バッタ目	4	キリギリス	きりぎりす 蝻 蟋蟀 蟋蟀 蟋蟀 莎鷄 莎雞 齋斯 齋斯 棚機 機織蟲 ぎいす ギス くろつづ 黒ツツ	キリクス キリギリス キリギリス キリクス ハタヲリ	キリギリス亜目	キリギリス上科	キリギリス科	1 9 26 11 1 2 2 2 1 2 1 1 1 1		
		5	クツワムシ	蝻 奥蟲 蝻	クツワムシ		クツワムシ種	14 1 3			
		6	コオロギ	竈鳥 竈馬 蟋蟀 蟋蟀 蟋蟀 促織	コウロキ コウロキ コホロキ ハタオリ		コオロギ科	1 4 1 1 1 14			
		7	ケラ	けら 螻蛄 螻蛄 螻	ケラ イラ		ケラ科	1 27 1 9			
		8	スズムシ	金鐘蟲 金鈴蟲 鈴蟲 鈴蟲	スズムシ スズムシ スズムシ スズムシ		スズムシ種	9 2 2 21			
		9	マツムシ	松 松虫 松蟲	マツムシ マツムシ		マツムシ種	8 2 43			
		10	カマドウマ	竈馬 竈馬 竈馬	イトド クロツダ		カマドウマ上科 カマドウマ科	10 3 1			
		11	ショウリョウバッタ	蟬蟲			バッタ上科 ショウリョウバッタ種	2			
		12	イナゴ	イナゴ 齋斯 齋斯 齋斯 齋斯 齋斯 齋斯 齋斯	イナゴ イナゴ イナゴ イナゴ		バッタ科	1 9 1 7 5 7 1			
		13	バッタ	バッタ 蝗 蚱 蟬蟲 ハタハタ	バッタ イナムシ ハタク		総称	1 15 1 2 2			
		ハサミムシ目	14	ハサミムシ	螻蛄 螻蛄 螻蛄 螻蛄		ハサミムシ	総称			1 1 6 3
		ゴキブリ目	15	ゴキブリ	滑蟲 蛭蟻 蛭蟻 蟻		アブラム アブラムシ アブラムシ	ゴキブリ亜目, オオゴキブリ亜目	総称		5 5 13 1
		カマキリ目	16	カマキリ	螻蛄 螻蛄 螻蛄 螻蛄		カマキリ カマキリ		カマキリ科, ハナカマキリ科		1 65 1 1
準新翅類	シラミ目	17	シラミ	虱 虱	シラミ	シラミ亜目	ヒトジラミ科, ケジラミ科		11 1		
	カメムシ目	18	アメンボ	水馬 水黽	アメタヲ	カメムシ亜目	アメンボ上科	アメンボ科	1 2		
		19	キンカメムシ	金龜蟲 金龜蟲			キンカメムシ科	1 7			
		20	タガメ	田龜			タイコウチ上科	タガメ種	1		
		21	アブラムシ	油虫 油蟲	アブラムシ	腹吻亜目	アブラムシ上科		2 2		
		22	キジラミ	木虱 木虱	ダニ タニ		キジラミ上科		1 1		
		23	クマゼミ	馬蟥		顎吻亜目	ゼミ上科	ヒグラシ種	1		
		24	ゼミ	蟬 蟬 蟬退 蟬退	ゼミ ゼミ セントアイ ヒグラシ				21 50 6		
		25	ヒグラシ	茅蟬 蟬 蟬					1 3		
	26	ツクツクホウシ	螻蛄 螻蛄 螻蛄	クツクホウシ クツクホウシ ツククヨシ	ツクツクホウシ種				4 2 1		
27	ウンカ	さばい 浮虚子	ウンカ	ヨコバイ亜目	総称		1 2				

分類	目	No.	目録名	記載名	記載名カナ	亜目	上科・科	備考	記載数	
完全変態類	チョウ目	62	イラムシ	イラムシ 天樂子 粘蠅	イラムシ	Glossata亜目	イラガ科	イラガ種	2 1 1	
		63	カイコ	野蠶 蠶	ヤマトイ カヒコ	・	カイコガ科	カイコガ種・クワコ種	1 3	
		64	ジャクトリムシ	尺蠖 蛭蟻	ジャクトリ ジャクトリムシ	・	ジャクガ科		8 11	
		65	ミノムシ	蓑蟲 蓑虫 木蠹 結草蟲 蓑衣蟲	ミノムシ ミノムシ	・	ヒロズコガ上科	ミノガ科	20 2 1 1 2	
	ハチ目	66	アリ	蟻	アリ		スズメバチ上科	アリ科	71	
		67	ハネアリ	羽蟻		1				
		68	アシナガバチ	馬蜂	ムマハチ	6				
		69	スズメバチ	山蜂		2				
		70	ジガバチ	蟻輪 蟻輪	ジガバチ チカバチ	・	ジガバチ亜科	ジガバチ族	1 1	
		71	ミツバチ	蜜蜂	ミツバチ		ミツバチ上科	ミツバチ属	5	
		72	クマバチ	大黃蜂 大黃蜂 大黃蜂	クマバチ ヤマバチ	7 4 4				
		73	ハチ	蜂	ハチ	77				
		74	ハチノス	露蜂房		5				
		ムカデ綱	ゲジ目	75	ゲジ	蜘蛛	ゲジク	・	ゲジ科	ゲジ種, オオゲジ種
蜘蛛	ゲシク					6				
蜘蛛	ゲシ					2				
蜘蛛	ゲチク					1				
蜘蛛	ゲチク					1				
蜘蛛	ゲチク					1				
蜘蛛	ゲチク					1				
ジムカデ目, オオムカデ目, イシムカデ目	76		ムカデ	ムカデ	ムカデ	総称			3	
				百手	ムカデ				1	
				百足	ムカデ				25	
蜈蚣	ムカデ	1								
蜈蚣	ムカデ	2								
蜈蚣	ムカデ	1								
蜈蚣	ムカデ	1								
蜈蚣	ムカデ	21								
蜈蚣	ムカデ	9								
ヤスデ綱	ヤスデ綱	77	ヤスデ	馬陸 馬蛭	ラサシケン ケン	総称	ムカデに似るが腐植食性(非肉食)	3 1		
甲殻綱	ワラジムシ目	78	ダンゴムシ	鼠婦		ワラジムシ亜目	Armadilloidea上科	5		
クモ綱	クモ目	79	クモ	蜘蛛	クモ	クモ亜目, ハラフシグモ亜目	総称	6		
		80	ジグモ	土蜘蛛			ジグモ科	ジグモ種	55 1	
		81	ハエトリグモ	蜘蛛		クモ亜目	ハエトリグモ科	1		
		82	ヒラタグモ	蜘蛛			ヒラタグモ科	ヒラタグモ種	1	
	83	ダニ	壁蝨			総称		1		
	84	マダニ	ふつ フツミ		マダニ亜目	マダニ科		1 1		
内顎綱	トビムシ目	85	トビムシ	飛蟲 鼠婦	トビムシ	総称		2 1		
環形動物	ヒル類	86	ヒル	ヒイル 水蛭 蛭	ヒル ヒル		総称		1 10 37	
	ミミズ類	87	ミミズ	蛭 蚯蚓 蚯蚓	ミムツ ミムツ ミムズ		総称		12 5 60	
有肺類	マイマイ目	88	カタツムリ	鼓蟲 鼓蟲 鼓蟲 土蝸 螺牛 蝸牛	マイク マイク		総称		2 1 2 1 1 59	
				ナメクジ	ナメクジ	ナメクジ ナメクジ ナメクシ	総称	カタツムリより貝殻が退化したもの	1 4 2 1	
両生類	無尾目	90	ヒキガエル	蝦蟇 蝦蟇 蝦蟇 蝦蟇 蟾蜍 蟾蜍 蟾蜍 黒蝦蟇	ガニ カマ ヒキ ヒキカイル	カエル亜目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル種	11 3 1 1 2 16 4 2 1	
				アカガイル 赤風蛤 赤蝦蟇	アカカイル アカカイル				アカガエル科	1 1 1
				河鹿 蛙 蛙 蛙 蝦斗 蟻蝸 青蝦蟇 鼈	カジカ カワズ カヘル アマカイル アヲカヘル				総称	4 14 4 47 2 2 1 1
	有尾目	93	サンショウウオ	山椒魚 鮭		サンショウウオ亜目	サンショウウオ上科		2 3	
		94	イモリ	蟾蜍 蟾蜍	イモリ イモリ	イモリ亜目	イモリ科	ニホンイモリ種	2 3	

『防長風土注進案』記載の虫類目録

分類	目	No.	目録名	記載名	記載名カナ	亜目	上科・科	備考	記載数
爬虫類	有鱗目	95	トカゲ	トカキリ		トカゲ亜目	総称	ニホントカゲ種 ニホンカナヘビ種	1
				トカケ					1
				石龍子					13
				蛤蜊	アヲトカゲ				2
				蛤蜊	アヲトカキ				1
				蛤蜊					2
				蛤蜊					1
				蛤蜊	アヲトカキ				1
				蛤蜊	アヲトカキ				1
				蛤蜊	アヲトカケ				1
	蝮		1						
	蝮	トカゲ	28						
	蝮		3						
	蝮		2						
	蜈蚣	トカキリ	1						
	蜈蚣	トカキリ	2						
	守宮	イモリ	22						
	守宮		1						
	蝮	ヤモリ	3						
	ヒバカリ	ヒバカリ	3						
	ヒバカリ	ヒバカリ	3						
	シマヘビ	カラスヘビ	3						
シマヘビ	カラスヘビ	3							
シマヘビ	カラスヘビ	1							
シマヘビ	カラスヘビ	1							
マムシ	マムシ	マムシ	蛇		ヘビ亜目	クサリヘビ科	ニホンマムシ種	1	
			反鼻	ヘビ				16	
			反鼻	ハミ				1	
			反鼻	ハンビ				1	
			反鼻	ハミ				1	
			反鼻	ハミ				3	
			蝮	マムシ				14	
			蝮	ハミ				1	
			蝮	クチバミ				1	
			蝮	ハミ				1	
蝮	ハミ	25							
蝮	ハミ	1							
蝮	ハミ	1							
ヘビ	ヘビ	ヘビ	蛇	ヘビ	総称		ナミヘビ科・ クサリヘビ科	73	
			口繩					3	
			蛇脱皮					2	
カメ目	イシガメ	イシガメ	龜	イシカメ	潜頭亜目	イシガメ科	ニホンイシガメ種	2	
			龜	イシガメ				10	
			龜	イシカメ				2	
	カメ	カメ	カメ	龜		カハガメ	イシガメ科	クサガメ種	8
				龜		カハガメ			1
				龜		マカメ			7
	スッポン	スッポン	スッポン	龜		カハカメ	スッポン科	ニホンスッポン種	2
				龜		カメ			1
				龜		カメ			32
スッポン	スッポン	スッポン	泥龜	ドンカメ				1	
			泥龜					2	
			泥龜	スツホン				4	
			龜	スツボン				10	
			龜	スツボン				1	
龜	スツホン	1							



1. 大島宰判
2. 奥阿武宰判
3. 奥山代宰判
4. 前山代宰判
5. 上関宰判
6. 熊毛宰判
7. 都濃宰判
8. 三田尻宰判
9. 徳地宰判
10. 山口宰判
11. 小郡宰判
12. 舟木宰判
13. 吉田宰判
14. 美禰宰判
15. 先大津宰判
16. 前大津宰判
17. 当島宰判

図1. 宰判と支藩領

(灰塗は支藩領を指す)

表2. 宰判ごとの虫類記載頻度

No.	標準名\宰判 (村数)	大島 (29)	奥阿武 (9)	奥山代 (0)	前山代 (3)	上関 (21)	熊毛 (7)	都濃 (9)	三田尻 (0)	徳地 (16)	山口 (4)	小郡 (9)	舟木 (1)	吉田 (0)	美禰 (0)	先大津 (11)	前大津 (12)	当島 (2)	記載宰判
92	カエル	27	1	-	-	20	1	1	-	-	3	6	1	-	-	2	5	2	11
90	ヒキガエル	7	7	-	-	4	1	-	-	-	-	6	1	-	-	3	6	2	9
100	ヘビ	28	3	-	-	20	1	-	-	-	-	6	-	-	-	9	10	1	8
87	ミミズ	28	3	-	-	20	-	-	-	-	-	3	1	-	-	9	9	2	8
32	ホタル	25	1	-	-	16	-	-	-	-	-	8	1	-	-	10	11	2	8
24	セミ	27	2	-	-	21	-	-	-	-	-	8	1	-	-	3	8	2	8
16	カマキリ	26	6	-	-	19	-	-	-	-	-	4	1	-	-	2	6	2	8
99	マムシ	21	7	-	-	16	-	1	-	-	-	2	-	-	-	8	6	2	8
76	ムカデ	12	6	-	-	20	-	-	-	-	-	3	1	-	-	8	7	2	8
88	カタツムリ	17	2	-	-	20	-	-	-	-	-	2	1	-	-	8	7	2	8
49	アブ	21	1	-	-	8	-	-	-	-	-	5	1	-	-	8	6	2	8
102	カメ	4	-	-	-	5	7	2	-	16	-	-	-	-	-	1	5	2	8
3	トンボ	26	1	-	-	21	-	-	-	-	-	7	1	-	-	11	10	-	7
73	ハチ	26	1	-	-	21	-	-	-	-	-	8	-	-	-	9	10	2	7
48	ハエ	24	1	-	-	18	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	9	2	7
57	チョウ	23	-	-	-	20	-	-	-	-	-	3	1	-	-	3	9	2	7
53	カ	24	1	-	-	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	8	2	7
9	マツムシ	13	6	-	-	19	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	8	2	7
95	トカゲ	14	3	-	-	18	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	8	1	7
86	ヒル	18	1	-	-	13	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	5	2	7
8	スズムシ	5	6	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	7	2	7
45	ハンミョウ	10	1	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	7	1	7
12	イナゴ	9	7	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	4	1	7
6	コオロギ	2	6	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	2	2	7
66	アリ	29	-	-	-	21	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	7	2	6
4	キリギリス	18	7	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	2	6
7	ケラ	14	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	5	2	6
54	ブユ	11	1	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	1	6
101	イシガメ	1	1	-	3	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6
5	クツワムシ	1	1	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	4	-	6
79	クモ	27	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	2	5
65	ミノムシ	5	2	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	5
96	ヤモリ	4	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	1	5
2	カゲロウ	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	5
56	ボウフラ	5	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	4
64	シャクトリムシ	4	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	4
1	シミ	2	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	4
47	ノミ	5	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	4
60	イモムシ	7	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	4
28	コガネムシ	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	4
89	ナメクジ	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	2	4
26	ツクツクホウシ	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	2	4
15	ゴキブリ	6	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3
75	ゲジ	10	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3
58	ガ	2	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
103	スッポン	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	5	-	3
13	バッタ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	5	-	3
43	ミイダラゴキムシ	2	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
10	カマドウマ	5	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
17	シラミ	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	3
14	ハサミムシ	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
19	キンカメムシ	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3

No.	標準名\宰判 (村数)	大島 (29)	奥阿武 (9)	奥山代 (0)	前山代 (3)	上関 (21)	熊毛 (7)	都濃 (9)	三田尻 (0)	徳地 (16)	山口 (4)	小郡 (9)	舟木 (1)	吉田 (0)	美禰 (0)	先大津 (11)	前大津 (12)	当島 (2)	記載宰判
98	シマヘビ	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
33	キクイムシ	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
25	ヒグラシ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	3
94	イモリ	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3
29	フンチュウ	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
63	カイコ	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3
77	ヤスデ	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	3
72	クマバチ	1	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
42	オサムシ	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
59	コウモリガ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2
71	ミツバチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	2
74	ハチノス	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
93	サンショウウオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	2
21	アブラムシ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
34	コクゾウムシ	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
31	コメツキムシ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
30	スクモムシ	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
46	幼虫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2
62	イラムシ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
78	ダンゴムシ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
18	アメンボ	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
91	アカガエル	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
27	ウンカ	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
37	ゲンセイ	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
81	ハエトリグモ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
84	マダニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
55	ガガンボ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	1
68	アシナガバチ	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
36	マメハンミョウ	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
35	ツチハンミョウ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
85	トビムシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
97	ヒバカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
44	ミズスマシ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
51	ウジ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
22	キジラミ	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
70	ジガバチ	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
38	ハムシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
69	スズメバチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1

(最上行括弧内の数字は、目録の虫類を記載する村落数を示す)

表3. 特定の宰判に記載の偏る虫類

No.	目録名	宰判	最大値	宰判数	平均
92	カエル	大島	27	11	4.2
14	ハサミムシ	大島	7	3	2.0
72	クマバチ	上関	14	2	1.0
58	ガ	上関	14	3	2.5
65	ミノムシ	上関	13	5	3.3
101	イシガメ	上関	12	6	2.0

No.	目録名	宰判	最大値	宰判数	平均
43	ミイデラゴムシ	上関	10	3	2.5
1	シミ	上関	10	4	2.3
5	クツワムシ	上関	10	6	1.6
98	シマヘビ	上関	6	3	1.0
59	コウモリガ	前大津	4	2	1.0

普遍的な虫類 カエルは前山代・徳地宰判を除く11の宰判において記載のある普遍的な虫類である。ヒキガエルは9の宰判に、ヘビ、ミミズ、ホタル、セミ、カマキリ、マムシ、ムカデ、カタツムリ、アブ、カメは8の宰判に記載のある普遍的な虫類である。トンボ、ハチ、ハエ、チョウ、カ、マツムシ、トカゲ、ヒル、スズムシ、ハンミョウ、イナゴ、コオロギは7の宰判に、アリ、キリギリス、ケラ、ブユ、イシガメ、クツワムシは6の宰判に記載がある。

記載の偏る虫類 複数の宰判に記載があるものの、特定の宰判にその頻度が偏る虫類について表3に示す⁸。表

の[宰判]列は記載数の最も多い宰判を示す。[最大値]列は記載数の最大値を、[宰判数]列は記載のある宰判数を示している。[平均]列は、最大値を取る宰判

8 なお多くの場合、項目の記載頻度は宰判ごとに均一ではない。いくつかの宰判に偏っていることが普通である。その中から特徴的と思われるものについて、以下の手続きにより抽出した。①各項目の宰判ごとの記載数を、項目ごとの合計で除算した。これはある項目がどの宰判に偏っているかを、0から1の間の値で示す。②項目ごとに、①の値の最大値と、平均値の差を算出する。これはある宰判の偏りが、どれほど平均値から離れているかを示すものである。また記載のある宰判が少ないために、大きな①の最大値を持つ項目を除外するためである。③算出した②の値が0.3以上のものを取り出した。この閾値はデータを見ながら主観的に設定した。

を除いた、記載数の平均である⁹。

宰判固有の虫類 ある宰判にのみ記載のある、宰判固有の虫類については、以下に示す。アシナガバチは大島宰判の6村にのみ記載がある。マメハンミョウは同宰判の3村、ミズスマシ、ウジは2村にのみ記載がある。キジラミ、ジガバチは上関宰判の2村にのみ記載がある。ガガンボは先大津宰判の7村にのみ記載がある。ツチハンミョウ、トビムシ、ヒバカリは前大津宰判の3村にのみ記載がある。ハムシ、スズメバチは同宰判の2村にのみ記載がある。

また、ある村落にのみ記載されている村落固有の虫類については、以下に示す。ショウリョウバッタ、タガメ、ウリハムシ、ダニは大島宰判の1村にのみ記載がある。クマゼミは上関宰判の1村にのみ記載がある。ヒラタグモは都濃宰判の1村にのみ記載がある。ハネアリ、ケムシ、ジグモは先大津宰判の1村にのみ記載がある。ハナアブ、アオウジ、カミキリムシ、マメゾウムシは前大津宰判の1村にのみ記載がある。

目録の103項目のうち、普遍的な虫類は29項目(28%)、記載の偏る虫類は11項目(11%)、宰判固有の虫類は25項目(24%)である。本稿で取り上げたこれらの項目は全体の63%であり、残りの虫類の検討は次の課題である。なお、注進案の食品目録三篇¹⁰と比較すると、この割合は1~2割ほど大きい。記載の偏る項目にはそれほど差はなく、普遍的・固有の項目の割合が、前稿の目録と比較して大きいのが特徴的である。

4. おわりに

本稿では『防長風土注進案』の産物記載をもとに構築したデータベースを用いて、虫類を対象とした目録を作成し、概要を報告した。虫類はカイコ¹¹や昆虫食などの一部を除いて、人間が直接利用する資源ではない。そのため、虫の記載は産物としてではなく、博物誌的な記述であったと考えられる。虫類の記載は粗密が予想され、実際に複数の宰判では虫類の記載を確認することができなかった。記載の網羅性が担保されないため、村ごとの虫の記述から生息域を考えることは難しい。しかし資料研究の観点から虫類の記載の偏りを明らかにすることは有意義である。ほか、目立つ体色のテントウムシや、大きく屈強なカブトムシ・クワガタムシ、擬態と異様な外観が特徴のナナフシなど、個性ある虫が記述から抜けて

いる例がある。本稿の目録と昆虫図鑑などを突き合わせ、記載されなかった虫類について思索するのも良いであろう。飛翔する、鳴く、肉食である、有毒である、作物に有害であるなど、目録の虫類をまた別の切り口で捉えれば、注進案に記載された理由に迫れるかもしれない。

本稿の執筆に際し、山口県立山口博物館学芸員の田中浩氏、また山口大学教育学部准教授の佐伯英人氏より貴重な助言を得た。記して感謝申し上げます。本稿は科学研究費補助金「地理情報システムを活用した食文化研究の構築」(研究課題番号:23500928、五島淑子代表)の助成による研究成果の一部である。

参考文献

荒木一視・五島淑子・ミホバ, D 2002 藩政期地誌書「防長風土注進案」のGIS化の試み: 歴史地理教材としての利用と歴史地理学への導入, 教育実践総合センター研究紀要 第13号pp.1-13

五島淑子 1987 天保期長州藩における食用産物について—「防長風土注進案」の分析を通して—, 山口大学教育学部研究論叢 第37巻 第1部 pp.43-55

小学館 2015『小学館の図鑑 NEO POCKET 昆虫』(第8刷)

松森智彦・山根麻希・中村 大・五島淑子 2014『防長風土注進案』の産物記載にみる食品目録(1): 農作物・採集品を中心に, 山口大学教育学部研究論叢 第63巻 第1部 pp.105-114

松森智彦・山根麻希・中村 大・五島淑子 2015『防長風土注進案』の産物記載にみる食品目録(2): 魚介類・海藻類を中心に, 山口大学教育学部研究論叢 第64巻 第1部 pp.83-96

松森智彦・山根麻希・中村 大・五島淑子 2016『防長風土注進案』の産物記載にみる食品目録(3): 農作物・採集品を中心に, 山口大学教育学部研究論叢 第65巻 第1部 pp.33-44

松森智彦・中村 大・五島淑子 2017『防長風土注進案』記載の産業と手工業製品, 山口大学教育学部研究論叢 第66巻 第1部 pp.41-56

松森智彦・中村 大・五島淑子 2018『防長風土注進案』産物・産業記載データベースシステムの開発と公開, 山口大学教育学部研究論叢 第67巻 pp.173-177

山口県立山口博物館 1993『ふるさと山口 江戸時代の動植物図』

⁹ すなわち(対象項目の記載総和-最大値)÷(宰判数-1)である。

¹⁰ 松森ほか2014, 15, 16。

¹¹ 目録の野蠶は非家畜種のクワコ等と思われるが、便宜のため目録ではカイコに併合してある。